

第 3377 図

りんどう科



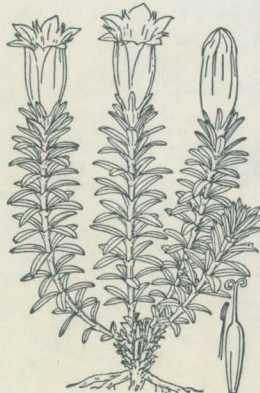
第 3378 図

りんどう科



第 3379 図

りんどう科



ひめせんぷり

*Lomatogonium carinthiacum* Reichb.  
(= *Pleurogyne carinthiaca* Griseb.)

北半球の寒地に分布し、南アルプスの高山帯に稀に生ずる小形の 1-2 年生草本。茎は高さ 3-12cm、単一又は細そく立った枝を分ち、全体無毛である。葉は対生し、下部では相接して着き、狭倒卵形で基は細まり短い柄となり、上部では少し離れて着き卵形でやや尖り柄無く、全辺で長さ 5-15mm。8-9 月、細そい柄を立てて長さ 6-12mm の淡碧色の花をつける。萼は基まで 4-5 裂し、萼片は長楕円形で尖り長さ 4-9mm。花冠も基まで 4-5 裂し、裂片は楕円形で鋭く尖り、脈は橙黄色で目立ち、基に近く 2 個の小さい袋状の腺体がある。雄蕊は 4-5 本。柱頭は子房の両側に下って着く。和名はセンブリに近縁で小形なのによる。

ほそばりんどう

*Gentiana scabra* Bunge  
var. *Buergeri* Maxim.  
subvar. *angustifolia* Makino

湿った草地に生ずる多年生草本。全体無毛で茎は単一で細そく、高さ 60cm に達する。葉は対生し柄なく、上部の葉は一層細そく、披針状線形で先は尖り全辺、長さ 2-6cm 巾、2-8mm、質はやや厚く、縁はわずかにざらついている。晩秋、茎の先又は上部葉腋に 1-4 花がかたまつて咲く。萼筒は漏斗状で長さ 1-1.5cm、裂片は 5 個、線状披針形で尖り、筒部とはほぼ同じ長さである。花冠は長鐘形で長さ 4-5cm、裂片は広卵形で先は急に尖り、日中には平開し、裂片の間に小さい尖った歯片がある。花はリンドウと同様であるが、葉は細そく湿地に生える。和名は細葉龍膽の意味。

やくしまりんどう

*Gentiana yakushimensis* Makino  
(= *Kudoa yakushimensis* Makino)

屋久島高地の岩間に生ずる多年生草本。全体無毛で、茎は数本かたまつてで高さ 5-20cm、細そく硬い。葉は 4 枚 (時に 3 枚) 輪生して密につき、披針状線形で鈍頭、質厚く濃緑色で光沢あり中肋は凹み、下面は白っぽく、長さ 1-2cm 巾 2-3mm。8-9 月、茎頂に比較的大きい 1 花をつける。花は柄なく、萼は長さ 1cm 余、鐘状で披針形のやや短い 6-8 裂片がある。花冠は長さ 3-4cm、碧紫色で黄緑色の細点があり、裂片は 6-8 個、裂片の間には 2 裂した小さい副片がある。柱頭は 2 裂している。屋久島の特産で和名もそれに基いてつけられ、細そい葉を輪生する特徴で他の種から直ぐ識別できる。

こふじらつぎ

*Buddleja venenifera* Makino  
f. *Kofuji Ohwi*

四国・九州に産する落葉灌木で、葉上面以外には小星毛が多く淡褐灰色にみえる。枝は円く、葉は柄があり対生し、披針状卵形で先は長く尖り、縁はほぼ全辺、長さ 5-15cm 巾は 1.5-6cm ある。夏、枝先に 8-20cm の穂をだし、花序はほぼ直立するが一侧にかたよって多くの花を密につける。萼は小さく鐘形で浅い 4 歯がある。花冠は長さ約 15mm、紫色で外面には密に星毛があり、筒部は細長く少し曲り、先は 4 裂し、裂片は卵形である。雄蕊は 4 個、花糸はきわめて短かく、花筒の半ばより上についている。萼は長卵形で長さ 5-7mm。九州南部にはウラジロフジウツギといい、星毛が特に密生して葉下面が白く見える品種がある。フジウツギに近いが枝は円く稜がなく、花序はほぼ直立し、葯は花筒の上の方についている。

らいらくく

一名むらさきはしどい  
*Syringa vulgaris* L.

バルカン半島中部及びクリミア半島原産の高さ 5m 内外の落葉の大灌木であるが、古くから芳香と花色とを目標にして培養され、日本でもまた栽培されている。幹は根本近くから何本にも分岐し稍と平たい丸さに茂る。葉は対生し、枝先端は冬枯れるため花穂も新条もみな 2 本ずつ相對して出る。葉は有柄、広卵形で長さ 7cm 内外、稍々硬い厚膜質で両面ともに蒼緑色、平滑無毛全縁、光沢がある。4 月頃に最上部の側芽が密集した総状の円錐花序に開花し、花冠は高盆形で筒は 1cm 以上、裂片は 4 個、平開、潤達で芳香があり、紫が普通、白、赤、青、八重咲の品種がある。リラの花の名でも有名。

やまとれんぎょう

*Forsythia japonica* Makino

岡山県西部の石灰岩地帯及び小豆島の懸崖に野生をみる落葉の灌木。高さ 1-2m、茎は疎に分枝し先端が時に彎曲下垂する。枝は灰色、中央の髓は隔膜性である。葉は対生、広卵形で長さ 3-7cm 厚手の草質、深緑色、時に葉柄と裏に微毛があるが普通は無毛、平滑、不規則な鋸歯が漸続する。花は黄色、レンギョウと同じ様式につくが、花梗は短かいため、花はその下にある鱗片の重なりから直接出ている様に見える。花径 2cm 満たず、雌雄性があつて二型花である点も他種に同じ。和名は日本産の意で大和に産するの意ではない。

第 3380 図

こふじらつぎ



第 3381 図

らいらくく



第 3382 図

やまとれんぎょう

